

大和合金 航空機着陸装置用の鍛造材

中国で相次ぎ認定取得

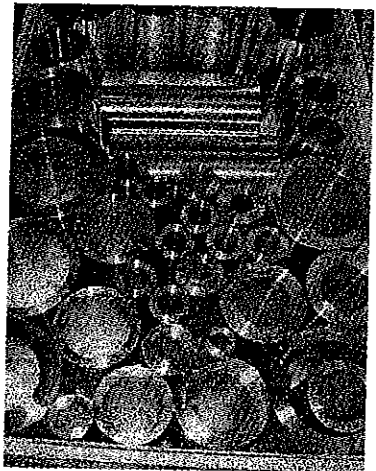
銅合金鍛造品メーカーの大和合金（本社・東京都板橋区、社長・萩野茂雄氏）は中国大手の航空機整備会社から相次いでランディングギア向け鍛造品プッシュの出荷認定を取得している。プッシュは円筒形の押出・鍛造品。今月に入って北京

の客先、昨年末には福建省アモイの客先から認定されており、現在は受注に向けて担当者現地派遣。営業活動を活発化している。認定のきっかけにな

ったのは、昨年9月に香港で開催された国際航空展「ASIAN・AE ROSPACE・2009」への参加。同社は東京都産業労働局が都内産業の振興のため技術力

の高い中堅企業をアピールするブースに出展し、アルミ青銅合金のプッシュを紹介。中国の航空機整備会社の目に留まった。これまではプッシュ

の出荷は国内のみ。海外向けの認定取得は同社として初めて。品質マニュアルの英文版



大和合金製ランディングギア用素材

などを揃えてサンプル出荷を続けてきた。

萩野源次郎常務は「航空機業界では小型機による効率的な輸送が進むことから国内外で生産台数の増加が見込まれる。特に中国などの新興国は経済の発展が著しく、今後期待が持てる」と話している。

国内でも昨年末に、これまで実績のなかった大手航空グループ系列の整備会社にプッシュを納入しはじめており、順調に商圏を拡大している。

(2010.3.24 鉄鋼新聞)

